



2025 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 I N C L U S I V E 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 藤 田 誠
(コード番号：7078 グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 正 田 聡
(TEL 03-6427-2020)

**(訂正)「特別損失の計上及び 2025 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」の一部
訂正について**

当社は、2025 年 5 月 14 日に開示いたしました「特別損失の計上及び 2025 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」について一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正の理由

「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後、有価証券報告書の作成過程において、減損損失の一部計上誤り及びそれに伴う税効果会計の処理誤りのあることが判明いたしました。また、連結キャッシュ・フロー計算書及びセグメント情報の集計にそれぞれ一部誤りがあり、またセグメント情報に追加すべき注記事項があることが判明いたしました。

これらの訂正すべき事項があったため、開示済みの「特別損失の計上及び 2025 年 3 月期通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」を訂正するものであります。

2. 訂正内容（訂正箇所につきましては、下線を付して表示しております。）

(訂正前)

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値の差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) ※	4,916	△358	△344	△168	△16.82
実績値 (B)	4,897	△366	△353	<u>△1,078</u>	<u>△107.42</u>
増減額 (B-A)	△18	△8	△8	<u>△909</u>	
増減率 (%)	△0.4	－	－	－	
(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	5,359	△94	△103	313	31.38

※2025 年 2 月 13 日発表の通期業績予想修正値

(参考) 調整後 EBITDA (営業利益+減価償却費及びのれん償却費+株式報酬費用+寄付金)

実績値 2025 年 3 月期 △106 百万円

前回発表予想 2025 年 3 月期 △107 百万円

(増減額 1 百万円、増減率 1.1%)

2. 差異の理由

売上高につきましては、前回発表の業績予想値に沿った着地となりましたが、主にメディア&コンテンツ事業における営業活動の不調および協業先メディアとの取り組み条件の悪化による不採算部門の増加、さらに選択と集中による不採算案件からの撤退により低調に推移いたしました。

営業損失および経常損失につきましても、業績予想値に沿った着地となりましたが、売上減少に伴う減益、事業再編に伴うコスト増加、各事業領域における原材料費の高騰によるコスト増加により、損失額が増加しております。

親会社株主に帰属する当期純損失につきましては、「3. 特別損失の計上について」に記載のとおり、当社子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社の業績が、取得当初の計画を下回って推移したため、将来の回収可能性を検討した結果、のれん等の資産の減損損失 1,111 百万円を計上いたしました。それにより、親会社株主に帰属する当期純損失は業績予想値を大きく下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

当社の連結子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社において、当初策定の計画を下回って推移したため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、2025 年 3 月期の連結決算において、超過収益力として計上しているのれん等 1,111 百万円の減損損失および当社の少額投資先である投資有価証券の評価損 81 百万円を計上いたしました。

なお、当連結会計期間において減損損失を計上したことにより、来期以降、約 117 百万円の営業費用の減少効果があり、営業利益および経常利益の増益要素となる見込みです。

(訂正後)

1. 2025 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値の差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) ※	4,916	△358	△344	△168	△16.82
実績値 (B)	4,897	△366	△353	<u>△1,073</u>	<u>△106.99</u>
増減額 (B-A)	△18	△8	△8	<u>△905</u>	
増減率 (%)	△0.4	—	—	—	

(ご参考) 前期実績 (2024 年 3 月期)	5,359	△94	△103	313	31.38
-----------------------------	-------	-----	------	-----	-------

※2025 年 2 月 13 日発表の通期業績予想修正値

(参考) 調整後 EBITDA (営業利益+減価償却費及びのれん償却費+株式報酬費用+寄付金)

実績値 2025 年 3 月期 △106 百万円

前回発表予想 2025 年 3 月期 △107 百万円

(増減額 1 百万円、増減率 1.1%)

2. 差異の理由

売上高につきましては、前回発表の業績予想値に沿った着地となりましたが、主にメディア&コンテンツ事業における営業活動の不調および協業先メディアとの取り組み条件の悪化による不採算部門の増加、さらに選択と集中による不採算案件からの撤退により低調に推移いたしました。

営業損失および経常損失につきましても、業績予想値に沿った着地となりましたが、売上減少に伴う減益、事業再編に伴うコスト増加、各事業領域における原材料費の高騰によるコスト増加により、損失額が増加しております。

親会社株主に帰属する当期純損失につきまして、「3. 特別損失の計上について」に記載のとおり、当社子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社の業績が、取得当初の計画を下回って推移したため、将来の回収可能性を検討した結果、のれん等の資産の減損損失 1,112 百万円を計上いたしました。それにより、親会社株主に帰属する当期純損失は業績予想値を大きく下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 連結決算

当社の連結子会社である株式会社オレンジ及び同グループ関連会社において、当初策定の計画を下回って推移したため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、2025 年 3 月期の連結決算において、超過収益力として計上しているのれん等 1,112 百万円の減損損失および当社の少額投資先である投資有価証券の評価損 81 百万円を計上いたしました。

なお、当連結会計期間において減損損失を計上したことにより、来期以降、約 117 百万円の営業費用の減少効果があり、営業利益および経常利益の増益要素となる見込みです。

以 上